

世田谷区先導的共生社会ホストタウン関連事業

(記載凡例)

- ・目玉事業：赤太字、下線
- ・重点支援措置に該当する事業：斜字

【区全域を対象として実施】

○バリアフリー法のマスタープランを2021年度中に策定予定

◆商店等における段差解消用簡易スロープの設置、点字付きメニューの作成及び筆談ボードの配置の助成
(2018年度実績21件)

◆**2019年度アメリカ代表のパラリンピアン(車いすラグビー)、障害当事者の参加による「バリアフリーまち歩き点検」と心のバリアフリーシンポジウムの実施**

◇2019年度中に若い世代を対象として、「世田谷における共生社会」をテーマにキャッチコピーを公募し、ポスターやチラシ等の広報啓発に活用予定

【小中学生に対する取組】

◆全区立小中学校・幼稚園での人権教育の推進(小学校61校・中学校29校・幼稚園8園)

◆ボッチャやブラインドサッカー等の障害者スポーツの体験と障害者アスリートとの交流



2019ボッチャ世田谷カップ

【区立総合運動場陸上競技場】

●2019年10月末竣工予定の大蔵運動場陸上競技場について、観覧席に車いす用座席(30席)を整備

●多機能トイレ1室、車いす対応トイレ3室を整備

●車いす対応更衣室・シャワー室を男女2室ずつ整備

●観覧席(スタンド)内の段差を解消し、エレベーターを設置し、車いす等でも利用しやすい施設として整備

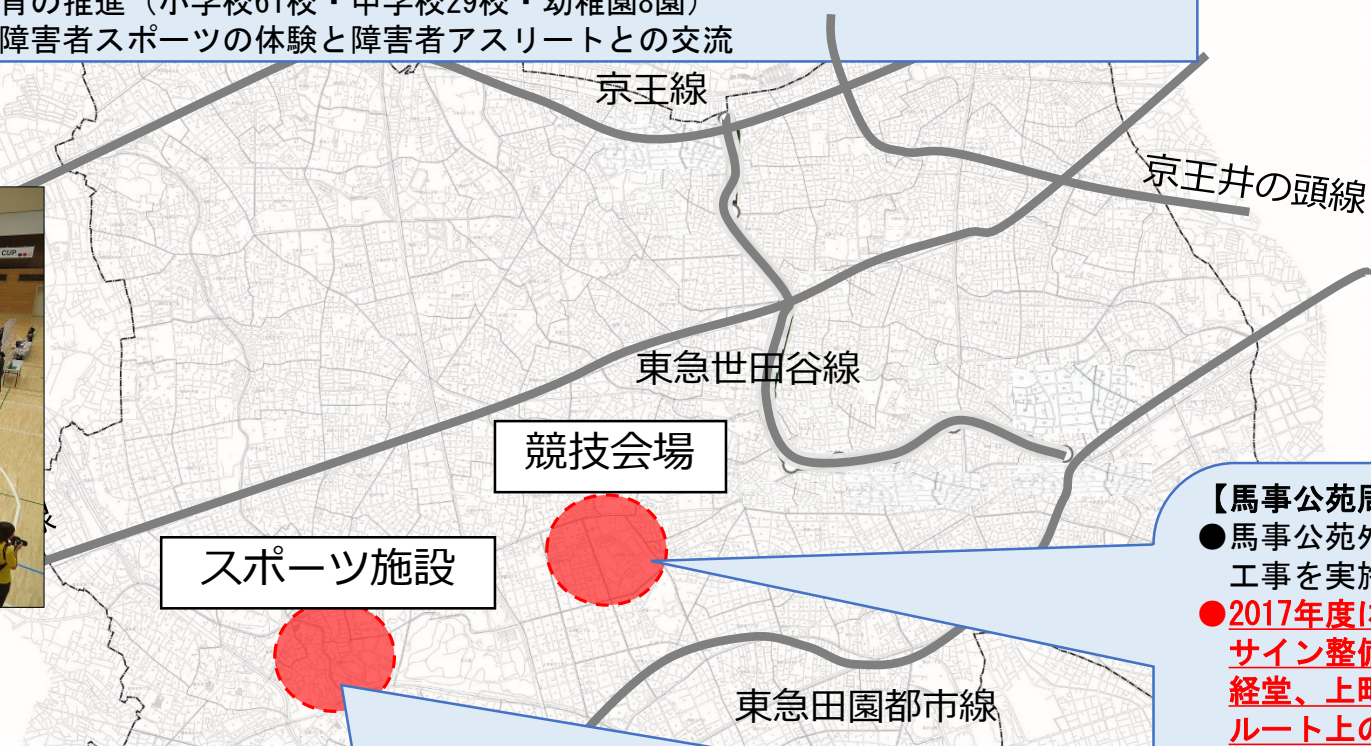
【障害者のスポーツ環境の向上】

●陸上競技場の障害者利用環境の改善(車いすシャワー室の設置)

●パラリンピック競技種目等の障害者スポーツ(ボッチャ、車椅子バスケットボール、シッティングバレー、ゴールボール等)に触れる機会を拡充し、障害者スポーツの普及啓発を実施

●**2019年8月に障害の有無に関わらず、小・中学校や町会自治会、障害福祉施設、アメリカチーム、民間企業など多様な16チームが参加した「ボッチャ世田谷カップ」を開催**

●障害者スポーツ事業を支えるスタッフ等の育成や障害者スポーツ・レクリエーション交流事業の促進



【ユニバーサルデザインの街づくり】

●現在実施中の事業

○今後実施予定の事業(計画中の事業)

【心のバリアフリー】

◆現在実施中の事業

◇今後実施予定の事業(計画中の事業)



新たに整備するサイン(イメージ)

【馬事公園周辺】

●馬事公園外周道路の一部約620mにおいて電線類地中化工事を実施(2019年度末完成予定)

●**2017年度に障害の方も含めた住民参加で策定したサイン整備計画に基づき、最寄り5駅(千歳船橋、経堂、上町、桜新町、用賀)から馬事公園までのルート上のサイン整備やのルート上の段差や視覚障害者誘導用ブロックの点検・改修を実施(2019年度末完了予定)**

○鉄道事業者、バス事業者等公共交通施設管理者に対し、ユニバーサルデザインに基づく施設改修の働きかけを実施



ホストタウン・共生社会ホストタウンロゴマーク

このロゴマークは、世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンであることをPRしていくために作成しました。「桜をモチーフに、アメリカ、世田谷のS、心、つながりと信頼、未来への発展」をイメージしています。

江戸川区先導的共生社会ホストタウン関連事業

【中央地区】

- ◆障害者が通年でパラスポーツに参加できるスポーツクラブ「オランダクラブ」を総合体育館に開設
- ◆トヨタモビリティ東京江戸川中央店に常設のボッチャコートを設置。障害者や高齢者など幅広く区民が利用
- ◆都内唯一の障害者スポーツ専担組織の設置

小岩駅

【一之江地区】

- ◆コミュニティプラザ一之江にて、NPO法人江戸川区視覚障害者福祉協会が主導する実績あるダンスサークルが活動

総合
体育館

区役所



常設ボッチャコート

船堀駅

一之江駅

【区内各駅前（葛西駅前などで実施済み）】

- 視覚障害者、車いす利用者共に安全に利用できるよう段差解消ブロックと視覚障害者誘導用ブロックを併置
- 車いすでも快適に走行できるユニバーサルペイブブロックの敷設
- 公衆手洗い所のユニバーサルデザイン化
- 音声誘導装置（触知図案内板）を設置

【西葛西地区】

- ◆当地区にあるアニメ専門学校と連携し、毎年パラスポーツマンガを制作する先駆的な事業を実施。4,400部制作し、区内の小中学校や病院・薬局等に配布
- ◆当地区にパラバドミントンの専用体育館があることから、わがまち競技として体験会や応援バスツアーを開催



西葛西駅

葛西駅

【区全域を対象として実施】

- ◆◇Game Changer Project（小中学校や特別支援学校等を対象とした、オランダのパラアスリートや指導者との交流機会の創出）の推進
- ◆障害者、小中高生、高齢者等様々な区民が参加する、ユニバーサルな「ボッチャ大会」の実施
- ◆障害者スポーツ指導員（令和元年時点110名）を「えどがわパラスポーツアンバサダー」として登録し障害者のスポーツを支援
- ◆◇オランダの「Sports Service Point」を参考に、パラスポーツに関する相談・コーディネート機能を区内スポーツ施設7か所に創設
- 区道の歩道巻込み部に、段差解消ブロックと視覚障害者誘導用ブロックを併置（段差ゼロブロックの設置）することにより、視覚障害者、車椅子利用者等が共に安全に移動できるよう整備（平成31年4月時点 整備率：86%）
- 区内各施設の改修等にあわせて、点字ブロックの整備やトイレのユニバーサルデザイン化などバリアフリー対応を推進
- 平成3年より、障害者団体との「やさしい道づくり」意見交換会を実施
- 障害者団体やGame Changer Project関係者と連携したバリアフリーマップの作成・改良
- ◆障害の有無を問わず集える地域共生社会の拠点「なごみの家」の設置
- ◆都内自治体初の「手話言語条例」の制定
- ◇共生社会推進に関する庁内情報共有機会の創出
- 改正バリアフリー法に基づくマスタープランや基本構想の策定

【新左近川親水公園カヌー一場】

- 全国でも珍しい、複数のカヌー競技場が整備されたバリアフリー施設（平成31年開設）。今後もさらにバリアフリー化を図り、障害者も気軽にカヌーに親しめる環境づくりを推進

新左近川親水公園



（記載凡例）

・目玉事業→赤太字

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
- 今後実施予定の事業（計画中の事業）

【心のバリアフリー】

- ◆現在実施中の事業
- ◇今後実施予定の事業（計画中の事業）

神戸市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市内全域を対象として実施】

- 神戸市バリアフリー基本構想に基づき各区に重点整備地区に選定し、バリアフリー化を重点的かつ一体的に推進:①
(身体障がい者等関係団体や学識経験者等の意見を聞きつつ、これまでに基本構想を2回見直すなどPDCAサイクルが定着。2020年度に目標年次を迎えるため、2021年度に向けて改訂予定)
- 市営地下鉄西神・山手線全駅に可動式ホームドアを設置(～2023年度):②
- 多機能・多目的トイレ「こうべ・だれでもトイレ」の整備
- 民間バス事業者等へのノンステップバス導入資金補助
- 一般参加も可能な心のバリアフリー研修を開催

【開村30周年を迎えた総合福祉ゾーン「しあわせの村」における取り組み】

- 神戸市全体のモデルとなるようなUD整備を実施
- オリンピック・パラリンピック事前合宿に向けたスポーツ施設改修(体育館、運動広場)
- 市民講座「こうべUD大学」の開催
- 夏休みの親子UD体験教室の開催
- 「こうべユニバーサルデザインフェア」の開催
- こうべUDサポーターによる「UD出前授業」の実施
- ◆しあわせの村におけるパラリンピック支援活動(パラ選手・団体への支援)
- ◆障害者スポーツ体験イベント「パラスポーツ王国」(14競技の体験、2018年延べ2,576人が参加)
- ◆障がい者アート公募展「しあわせの村こころのアート展」

総合福祉ゾーン
しあわせの村



⑤オーストラリアパラ・ネパールパラ水泳事前合宿

⑥神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会会場

ユニバー記念競技場



市営地下鉄



【スポーツ施設等】

- ◇オーストラリアパラチームによる事前合宿(2020年8月):⑤
(100名規模の受入れ及び交流、ボランティア募集、施設改修)
- ◆ネパールパラ水泳チームによるトレーニング合宿(2016年度～)及び事前合宿(2020年8月):⑤
- ◇合宿に伴う市民向け練習見学会や児童生徒との交流事業を計画
- ◇神戸2021世界パラ陸上競技選手権大会の開催(2021年9月開催):⑥
- 大会・事前合宿開催に伴うバリアフリー等施設改修

①重点整備地区
垂水区役所周辺

④重点整備地区
北区役所周辺

(記載凡例)

・目玉事業→赤太字

【ユニバーサルデザインの街づくり】

- 現在実施中の事業
 - 今後実施予定の事業(計画中の事業)
- 【心のバリアフリー】
- ◆現在実施中の事業
 - ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

【市内小中学校を対象として実施】

- ◆あすチャレ!スクール(2016年度1校、2017年度5校、2018年度9校、2019年度10校(予定含む))及びあすチャレ!ジュニアアカデミーの実施
- ◇オリパラムーブメントにおける教育推進校にオリパラ教育
- ◆ネパールパラ水泳チームのトレーニング合宿に伴う交流事業の実施



①重点整備地区
灘区役所周辺

中心市街地
三宮

④都心・三宮の再整備



①重点整備地区
兵庫区役所周辺

①重点整備地区
中央区役所周辺

②市営地下鉄西神・山手線全駅に可動式ホームドア設置

①重点整備地区
長田区役所周辺

ポートアイランド

③国際義肢装具協会世界大会(ISPO)会場



御崎公園球技場

①重点整備地区
須磨区役所周辺

⑤オーストラリアパラ事前合宿
神戸スカイブリッジ

【中心市街地】

- ◇国際義肢装具協会世界大会(ISPO)2019の開催:③
(30年ぶりの日本開催、約70か国からおよそ5,000人が参加)
- オリパラ等経済界協議会と連携したバリアフリーマップ作成(三宮、御崎公園球技場)
- 神戸2021世界パラ陸上競技選手権に伴う宿泊施設等のバリアフリー改修
- 都心・三宮の再整備において誰もが暮らしやすいまちづくりを実施:④
- 外国人を含め誰もが見やすい、まちの案内サインを整備